

みしま 三島のサイノカミ

みしままち
【福島県三島町】



開催場所 三島町内各所・11地区程度
(福島県大沼郡三島町)

開催時期 毎年1月15日

アクセス JR只見線「会津宮下駅」
磐越道「会津坂下IC」から
車で25分(18km)

古くから五穀豊穡、無病息災、村中安全を祈願する伝統行事で、国指定の重要無形民俗文化財に登録されています。

毎年1月15日に実施され、御神木(ゴシンボク)と呼ばれる木を山から伐り出し、燃え草を巻き付けて柱とし、御弊(オンベ)と呼ばれる縁起物を取り付けて立てます。夕刻に点火し、オンベに火が点くと縁起が良い、燃えたススを身体の悪い部分に塗ると良くなるとも云われています。

この行事は町の人々によって今日まで守り伝えられ、近年では「日本で最も美しい村」連合加盟の登録資源にもなりました。

問い合わせ 三島町観光協会 ☎ 0241-48-5000

周辺情報

三島町は福島県の西部に位置し、尾瀬を源流とする只見川沿いにある山間の町です。只見川に沿ってJR只見線が走り、渓谷と鉄道が織り成す四季折々の風景を見ることができ、道の駅「尾瀬街道みしま宿」近くにある第一只見川橋梁ビューポイントは、近年、日本人のみならず外国人観光客が多く訪れる場所として注目されています。

てらの 寺野のひよんどり

はままつ
【静岡県浜松市】



浜名湖に注ぐ都田川水系流域の山間地には、正月に五穀豊穡などを祈念して行われる修正会にちなんだ「ひよんどり・おくない」と呼ばれる民俗芸能が点在しています。寺野のひよんどりはその中の代表的な民俗芸能の一つです。

寺野のひよんどりは、1月3日に浜松市北区引佐町渋川の宝蔵寺観音堂で開催され、前段は伝統的な神楽系の舞楽、後段は猿楽田楽系・田遊び系の演目によって構成されています。なかでも日没後、クライマックスで披露される鬼の舞は、堂内で松明の火花が散るほどの豪快さで、最大の見どころとなっています。「ひよんどり」とは火踊りが訛ったもので、寺野では1570年（元亀元年）頃からはじまったといわれています。

開催場所 宝蔵寺観音堂（浜松市北区引佐町渋川877）

開催時期 毎年1月3日

アクセス JR浜松駅から遠州鉄道バス渋川行で約90分、終点「渋川」～徒歩30分
三遠南信自動車道（三遠道路）「渋川寺野IC」より車で3分
（「寺野渋川IC」は浜松方面出入口のみのハーフIC）

問い合わせ 浜松市文化財課 ☎ 053-457-2466

周辺情報

引佐町は、大河ドラマにもなった戦国時代の女城主井伊直虎のゆかりの地です。直虎が治めた井伊谷には井伊家の居城であった井伊谷城跡（現・城山公園）があるほか、竜宮小僧の伝説で知られ日本の棚田百選にも選ばれている「久留米木の棚田」があります。

周辺の川名、滝沢、懐山、神沢の地域にも「ひよんどり・おくない」が、東久留女木にはその一部が伝承されています。

まつ ぞんべら祭り

わじま
【石川県輪島市】



ぞんべら祭りは、輪島市門前町の鬼屋神明宮にて、田の荒おこしから田植えまでの行事を神前で模擬的に行って、豊作を祈る田遊び行事で、約700年前から続くとされています。

お祭りの中では「ぞんぶり（水音のザブザブの意）」という文言が繰り返されることから「そんべら祭り」と呼ばれるようになったと伝えられています。

- | | |
|-------|--|
| 開催場所 | 鬼屋神明宮（輪島市門前町鬼屋） |
| 開催時期 | 毎年2月6日 |
| アクセス | のと鉄道七尾線「穴水駅」から北鉄奥能登バス門前行きで「門前」バス停まで35分。バス停からは徒歩で20分。
北陸道「金沢森本IC」または「金沢西IC」より能登方面へ、のと里山海道を通り「穴水IC」から門前方面へおよそ30分。 |
| 問い合わせ | 輪島市門前総合支所地域振興課 ☎ 0768-42-8720 |

能登半島北部に位置する輪島市門前町は、海を望み、山を抱く、奥能登の豊かな自然があふれたところです。門前町の町名の由来は、總持寺祖院が曹洞宗の本山であった頃の名残です。

また、奥能登最後の秘境といわれる猿山岬では、3月中旬～4月上旬にかけて、白や赤、ピンクなどの愛らしい雪割草が一面に咲き乱れ、日本有数の群生地となっています。

と ば ひ ま つ 鳥羽の火祭り

にしお
【愛知県西尾市】



鳥羽の火祭りは、鳥羽神明社で毎年2月の第2日曜日に行われる火祭りで、その起源は約1200年前とされており、2004年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

祭りは、境内に設置された高さ5mの2基の松明「すずみ」に、福地と乾地のふたつの地区に分かれ「神男」が火を点火、古い幟（のぼり）で作った衣装に身を包んだ「奉仕者（通称「ネコ」）」たちが、炎の中に果敢に飛び込み「すずみ」の中心に納められた「神木」と「十二縄」を福地・乾地どちらが早く取り出すかを競い、その年の天候・豊凶を占います。

開催場所 鳥羽神明社（西尾市鳥羽町西迫89）
開催時期 毎年2月第2日曜日
アクセス 名鉄蒲郡線「三河鳥羽」駅下車、徒歩約10分
東名高速「音羽蒲郡IC」から約40分、「岡崎IC」から約60分
問い合わせ （一社）西尾市観光協会 ☎ 0563-57-7882

【写真提供：（一社）西尾市観光協会】

西尾市吉良町にある華蔵寺（けぞうじ）は、臨済宗妙心寺派の禅寺で、忠臣蔵で有名な吉良上野介義央の曾祖父、義定が先代義安の菩提を弔うため慶長5年（1600年）に創建された高家吉良家のお寺です。

華蔵寺の吉良家墓所には義安以下代々の墓が建ち並んでおり、地元では今なお名君として慕われている義央の命日である12月14日には毎歳忌（まいさいき）法要が行われ、たくさんの参拝客が訪れます。

すなまつり 砂かけ祭

かわいちょう
【奈良県河合町】



奈良県河合町の廣瀬大社では、毎年2月11日、豊作を願って砂をかけ合う奇祭「砂かけ祭」が開催されます。

祭りは、午前の「殿上の儀」と午後の「庭上の儀」の二部構成になっていて、砂のかけあいは「庭上の儀」でおこなわれます。境内に忌竹を立てしめ縄を張って御田を設け、氏子が扮した牛と田人が鋤く所作をし、松葉でつくった苗を植えます。参拝の人々は牛役などに砂をかけ、田植えに必要な雨が十分に降るように祈願します。

砂を盛んにかけ合うほど、田植えの時期に雨がよく降り、豊作になるとされています。

開催場所	廣瀬神社（河合町川合99）
開催時期	毎年2月11日
アクセス	JR大和路線「法隆寺駅」下車 東南方向に3km、徒歩30分 西名阪道「法隆寺IC」より約5分
問い合わせ	廣瀬神社（廣瀬大社宮司 樋口俊夫） ☎ 0745-56-2065

周辺情報

廣瀬神社のある河合町は、川合大塚山古墳群・馬見丘陵古墳群など約60基の古墳があります。そのほかにも、縄文時代の遺跡や大和川の沿いの古い町並みなど、味わい深い歴史スポットです。農作物では、水稻のほか、イチゴやブドウの栽培が盛んです。

あつき しんめいまつり
阿月の神明祭

やない
【山口県柳井市】



阿月神明祭は、毎年2月11日に、柳井市の阿月地区で開催される豊作を祈る壮大な火祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

早朝から身を清めて白装束をまとった若者たちが、高さ約20mの御神体を東西に2本起し立てて祭りが始まります。

御神体のまわりでは、昼夜2回「神明踊り」が奉納され、刀や槍を巧みに使った武者踊りが披露されます。最後には、御神体に火が放たれ、御神体が引き倒されて、祭りは幕を閉じます。

開催場所	阿月東西神明宮前（柳井市阿月）
開催時期	毎年2月11日
アクセス	JR柳井駅から、宇積行きまたは池ノ浦行きのバスで約20分「青木」下車～徒歩5分 山陽道「玖珂IC」より車で約40分

問い合わせ

柳井市観光協会 ☎ 0820-23-3655

周辺情報

柳井駅から近い市の中心部には、江戸時代の商家が立ち並ぶ「白壁の町並み」があります。この町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、白壁の町並みを中心とした観光スポットを無料で案内するボランティアガイドもあります（予約制）。

くぼてさん 求菩提山のお田植祭

たうえまつり

ぶぜん
【福岡県豊前市】



修験道の山として知られる求菩提山では、かつて山伏が「松会（まつえ）」と呼ばれる五穀豊穰を祈る祭礼を行っており、そのうち今に伝えられる田行事が「お田植祭」です。

お田植祭は、その年の豊作を予め祝う予祝祭で、求菩提山の国玉神社中宮前の広場にて毎年3月に行われています。畔ぬり、田鋤き（張子の牛で馬鋤を引く）、種蒔きなど、田植えにまつわる一連の農作業の様子を松役という演者や子どもたち（稚児・早乙女）が御神歌に合わせてユーモラスに演じます。

開催場所 求菩提山 国玉神社 中宮前広場（豊前市大字求菩提）

開催時期 毎年3月の最後の日曜日（29日を越えない）

アクセス JR日豊本線「宇島駅」から豊前市バス「求菩提資料館前」まで約30分、会場まで徒歩約45分
東九州道「豊前IC」から車25分、駐車場有り：50台（無料）

問い合わせ 豊前市生涯学習課 ☎ 0979-82-1111

周辺情報

求菩提山は、豊前市のほぼ南に位置する標高782mの山です。かつて修験道のメッカであった山中には、当時を偲ぶことができる多くの遺構が残されており、国の史跡に指定されています。

国玉神社の近くには、修験道遺品を数多く収蔵展示した資料館やバンガローやログハウスもあるキャンプ場もあり、求菩提山の歴史や自然を味わえます。

なえしろださい 苗代田祭

たかはるちょう
【宮崎県高原町】



苗代田祭は、約500年前から高原町の狭野神社（さのじんじゃ）に伝わる春の農耕神事で「ベブがハホ」と呼ばれています。

この地方の方言でベブは牛、ハホは主婦のことで、この両者を中心に代かき、種まきなどの農耕を模した所作が演じられます。

当日は、狭野神社拝殿にて神事が行われ、その後、拝殿横の田を見立てた場所で約一時間、正午頃まで行われます。祭りのはじめと終わりには神官による厳粛な儀式が執り行われますが、祭りでは、地区住民が代かきから種蒔きまでの一連の農作業をユーモラスに演じます。

開催場所	狭野神社（高原町大字蒲牟田117）
開催時期	毎年2月18日
アクセス	JR吉都線「高原駅」から車で約10分 宮崎道「高原IC」から車で約13分
問い合わせ	高原町観光協会 ☎ 0984-42-4560

狭野神社では、苗代田祭のほかにも、御田植祭（5月）、狭野神楽（12月）などの祭祀が行われています。

国道223号線沿いにある農産物直売所「杜の穂倉」では、地元の農事組合法人が生産した農産物を使用して、栽培から収穫、加工まで一貫生産のオリジナル商品（うどん、お酒など）や霧島山系の湧き水で育てたお米を販売しています。

かぎひ まつ 鉤引き祭り

かのや
【鹿児島県鹿屋市】



鹿屋市上高隈町の中津神社境内で行われる「鉤引き祭り」は、300年以上の歴史をもつ五穀豊穡、子孫繁栄、無病息災を願う伝統行事です。

鉤引きは、高隈地区の大黒・高隈の両町内会の青壮年たちによって、二股の雌木とかぎまたの雄木をからみ合わせて自分の陣地に引き込めば勝ちとなります。先に2勝した方が勝ちとなり、豊年になるとされているため、大きな掛け声にあわせ力いっぱい引き合う姿は壮観です。

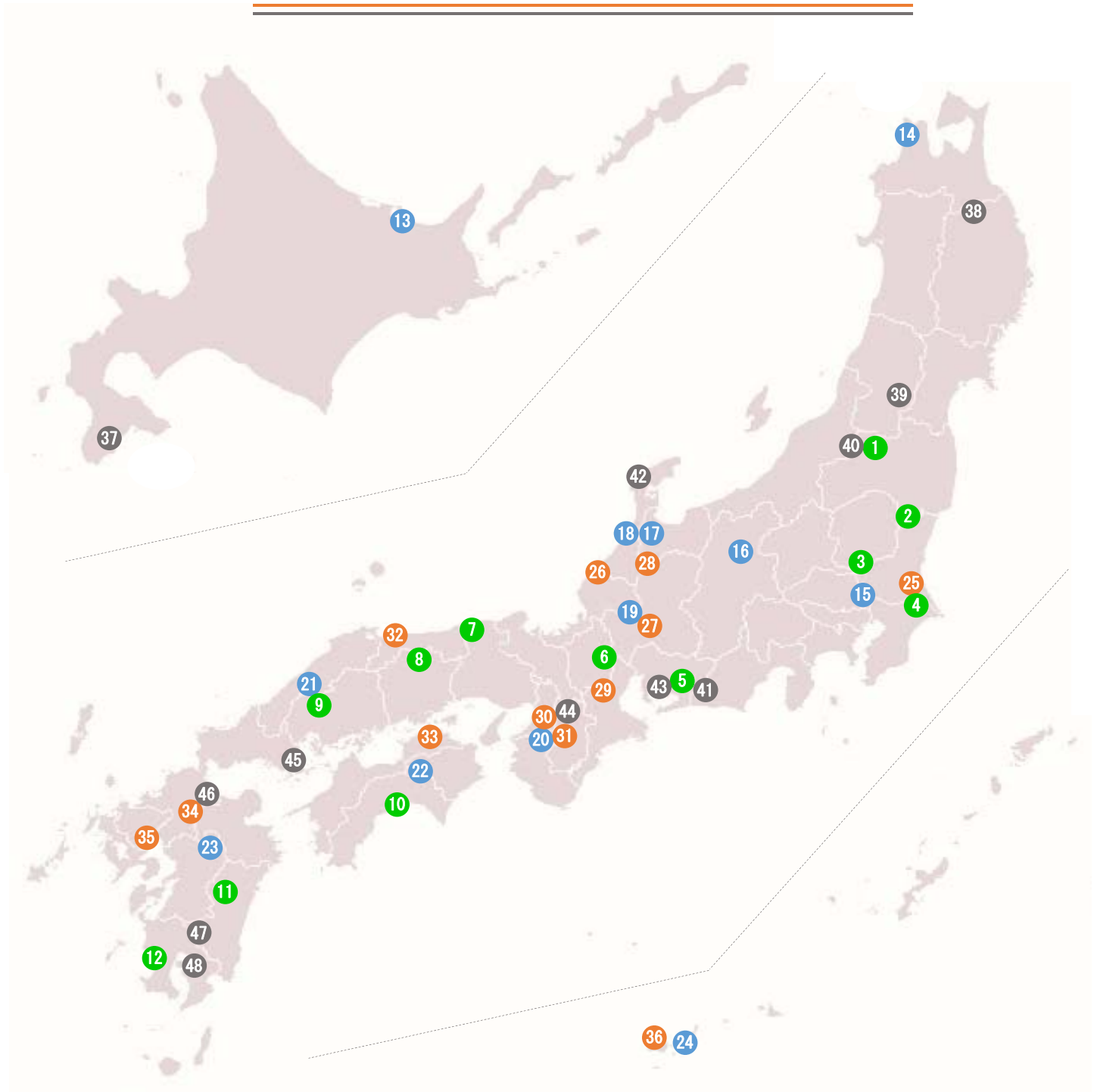
鉤引きの前には、棒踊りや田起こし、代かき（木牛を使う）、播種・餅まき行事などが奉納されます。

開催場所	中津神社（鹿屋市上高隈町759）
開催時期	毎年2月の第3日曜日
アクセス	鹿屋バスセンターからバスで25分、高隈バス停から徒歩で3分 東九州道「野方IC」から10分
問い合わせ	鹿屋市観光協会 ☎ 0994-41-7010

中津神社にほど近い「たかくま石蔵館」では、鉤引き祭りにあわせて、地元のコミュニティ協議会により「鉤引き産業市」が開催されます。

地元のお米、野菜やくだものほか、竹で作ったとっくりなども販売され、うどんやそばの食事コーナーもあります。

伝統祭事マップ



春の祭事

- 1 慶徳稲荷神社の御田植祭
- 2 近津神社の中田植
- 3 間々田のじゃがまいた
- 4 香取神宮の御田植祭
- 5 千万町神楽
- 6 多賀大社の御田植祭
- 7 但馬久谷の菖蒲綱引き
- 8 布施神社のお田植祭
- 9 壬生の花田植
- 10 神田祭り
- 11 田代神社の御田祭
- 12 せつべとべ

夏の祭事

- 13 豊郷神楽
- 14 相内の虫送り
- 15 北川崎の虫追い
- 16 岳の幟
- 17 ねつおくり
- 18 横江の虫送り
- 19 門脇の雨乞踊り
- 20 椎出 鬼の舞
- 21 鹿子原の虫送り踊り
- 22 西祖谷の神代踊り
- 23 御田植神幸式
- 24 四ヵ字豊年祭

秋の祭事

- 25 青沼どぶろく祭り
- 26 表児の米
- 27 大矢田ひんこ祭
- 28 どぶろく祭
- 29 勝手神社の神事踊
- 30 上神谷のこおどり
- 31 ススキ提灯献灯行事
- 32 上淀の八朔綱引き
- 33 ひょうげ祭り
- 34 おしろい祭り
- 35 抜穂祭
- 36 節祭

冬の祭事

- 37 寒中みそぎ祭り
- 38 似鳥のサイトギ
- 39 加勢鳥
- 40 三島のサイノカミ
- 41 寺野のひよんどり
- 42 ぞんべら祭り
- 43 鳥羽の火祭り
- 44 砂かけ祭
- 45 阿月の神明祭
- 46 求菩提山のお田植祭
- 47 苗代田祭
- 48 鉤引き祭り



「農村の伝統祭事」（令和2年1月）

この冊子に対するお問い合わせは、下記担当までご連絡下さい

農林水産省農村振興局地域振興課多面的機能班

☎ 03-6744-2081



農林水産省ホームページ（農業・農村の多面的機能）